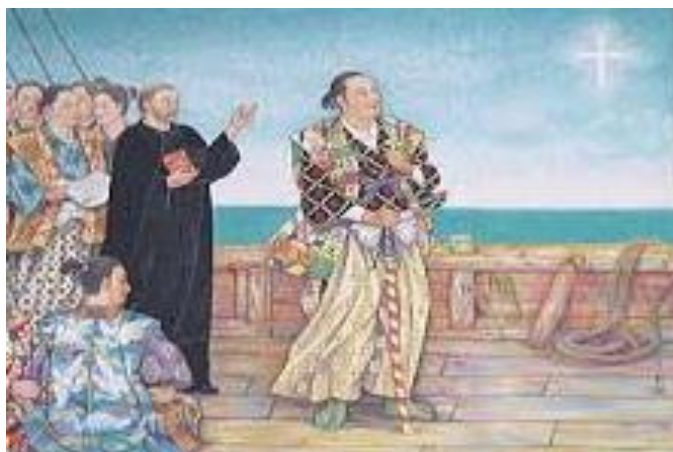


# 真の平和を造るため 福音はゆるしと和解を求める

世界宣教の月 ② 2017年10月8日



創造主である神さまは、すべての時代の人の心に福音の種をたくさん蒔いてくださっています。東洋諸国の文化に福音の種がたくさん残っているため、世界から高く評価されています。知らない国の旅人であってもとても温かく迎え、丁寧にもてなす習慣はその一例です。

イエスはさらに完成した生き方をその弟子に提案しました。それはゆるし、和解と連帯の心をもって、すべてのいのちを大切に、助け合いと敬愛に基づいた「父である神の国」の構築に取り組むように。

不当な迫害を強いられていたときでも、日本のキリスト信者は力で抵抗せず、ゆるしと和解の福音をあかししました。祖国から追放されたユスト高山右近（1615年）や日本各地で殉教した先人たちは、愛を生き抜く信仰の手本を残してくださいました。

創造主からすべての人がいただいている「福音の種」の力と主イエスが教会に委ねた福音の力をあわせれば、人類の歴史の流れを慈愛と真の平和に向けることができるはずです。



「イエスと共に刑を受けるために、ほかにふたりの犯罪人も引かれていった。されこうべ」と呼ばれている所に着くと、人々はそこでイエスを十字架につけ、犯罪人たちも、ひとりには右に、ひとりには左に、十字架につけた。

そのとき、イエスは言われた、「父よ、彼らをおゆるしてください。彼らは何をしているのか、わからずにいるのです」。

## 教皇フランシスコの呼びかけ

トランプ氏の考え方に対して教皇フランシスコが述べた言葉、『壁を壊して橋を作る人でないと、キリスト信者とは言えない』は、世界中で広い反響を起こした。

ベルリンの壁、エルサレムの壁等で、大変辛い思いを体験している人類が、今度は中近東、及び中央アフリカの国々から脱出する難民の入国を防ぐため、ヨーロッパの数ヶ国は壁や高いフェンスを建設し、また、メキシコからの不法入国を断ち切る為にアメリカ合衆国は約32,180キロの壁を建設しようとしています。



大変複雑な問題で、完璧な解決が見いだせないかも知れません。しかし、国際社会の関心と理解、援助と支援が必要です。国を離れようとする難民は最悪の貧困や数えきれない苦しみを体験し、恐ろしい暴力に遭い、家を失い、いのちを芽生えさせる土地を探しています。隣接国の和解・協力はともかく、特にキリスト教国の努力によって、包括的な政策改革が検討されますことを切に祈っています。

# 壁を壊して橋を作る

列福式の日アマート枢機卿はキリストの教えを伝える事を望み、日本人の宣教師やカテキスタを養成するため、各地にセミナリオを創設するなど、領民に福音をもたらしたユスト高山右近の活発な宣教活動を次の言葉で紹介しました。

## 神のいつくしみの顔 福者ユスト高山右近

右近は、キリストの教え、愛の言葉、贖いの業に魅了され、その確信により日本の福音宣教の不屈の推進者となった。真のキリストの武人、その技に長けた剣ではなく、言葉と業による武人であった。特権的な地位を失い、生活の貧しさが増し、隠れた境遇になっても、気落ちすることなく、平静を保ち、洗礼の約束に常に忠実だった右近の強い信仰をアマート枢機卿は称えた。

悲劇的な死を予感し続けた右近であったが、その殉教は、血を流す殉教ではなく、流刑による引き延ばされた死であり、十字架のキリストの苦しみに与ることであった。

自分を迫害する人々のために祈り、彼らを赦し、日本の回心を念じて命を捧げた右近は、不和と迫害の困難な時代にあって、キリストへの信仰を卓越した方法で証した。右近が日本の教会とすべての信者に残したものは、「偉大な信仰の宝」であった。



貧者を助け、病人を見舞い、寛大な施しをし、父ダリオと共に身寄りのない人の埋葬を行なったユストの深い福音性に満ちたその数々の慈愛の業は、「だれがキリストの愛からわたしたちを引き離すことができますか？」(ローマの信徒への手紙 8, 35)という聖パウロの言葉をそのままに生きたユストを思い起こした。

教皇ヨハネ・パウロ二世『平和アピール』より 広島 1981

## 『あなたの終わりのなき平和を』

私は自然と人間、真理と美の創り主である神に祈ります。

神よ、私の声を聞いてください。

それは、個人の間、または国家の間でなされた、  
すべての戦争と暴力の犠牲者たちの声だからです。

神よ、私の声を聞いてください。それは人々が武器と戦争に  
頼るとき、犠牲者となって苦しむすべての子供たちの声だからです。

神よ、私の声を聞いてください。わたしは、  
主がすべての人間の心の中に、平和を創るための  
知恵と、正義の力と、仲間同士であることの喜びを  
注いでくださるよう祈ります。

神よ、私の声を聞いてください。

私はすべての国、またすべての時代において戦争を望まず、  
常に喜んで平和の道を歩む無数の人々にかわって、  
話しているからです。

神よ、私の声を聞いてください。私たちがいつも、  
憎しみには愛を、不正には正義をもってあたり、  
貧困には自己の分かち合いを、  
戦争には平和をもってこたえることができるよう、  
英知と勇気をお与えください。

神よ、私の声を聞いてください。

そして、この世に

「あなたの終わりのなき平和」を  
お与えください。 アーメン。

